

# ともに育む



次世代を担う子どもたちや  
地域を支える人を  
守り育てる

チャレンジ

# 85%

～高校生が「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた割合（8年後）～

令和3年度に行った高校生アンケート調査によれば、「出雲に愛着や魅力・誇りを感じる」高校3年生は、「ある程度感じる」も含めると、81.1%に達しました。これは、ふるさと出雲で育まれた、地域、学校、市民の関わりの成果であり、出雲に愛着や魅力・誇りを持つ若者を育むことは、定住意向にもつながります。子どもたちが高校生までの成長過程において、ふるさとに貢献したいと思えるふるさと教育を進め、8年後には85%をめざします。

- 出雲の活力を維持・増大させるため、次代を担う子どもたちや、地域を支える人材の育成に力を入れ、「出雲力」を高めます。
- 子どもたちが、夢をもち未来を切り拓く力を育み、しなやかでたくましく成長できるよう、教育活動や教育環境の充実に取り組むとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。
- 特別な支援を必要とする子どもたちに対し、関係機関と連携した支援体制の強化と施策の充実に努め、一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実にめざします。
- 市民活動やまちづくり活動を行う人材・団体の育成や支援を通じて、良好な地域コミュニティの維持をめざします。

# ともに育む

## 教育の充実 ★



### ■ 学力向上推進事業

「主体的・対話的で深い学び」を実現し学力向上を図るため、教職員の授業力を高めるとともに、「いずも GIGA スクールプラン」に基づき、ICTを効果的に活用しながら授業改善を進め、学習指導要領で求められる学びの実現に向けて着実に取り組みます。

### ■ ICT機器の活用による効果的学習の推進

- 学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」を実現し学力向上を図るため、教員の授業力を高めるとともに、「いずも GIGA スクールプラン」に基づき、ICTを効果的に活用しながら授業改善を進めます。
- 自他の人権を尊重すること、情報を正しく安全に利用することなど、情報モラル教育も計画的、系統的に取り組みます。

### ■ 学校図書館活用教育の充実

学校図書館を活用した学習を推進し、児童生徒の読解力等を培い、豊かな心を育むために、学校司書（学びのサポーター・読書ヘルパー）の活用と図書の実用を図ります。

### ■ 日本語指導が必要な児童生徒への学習支援

日本語指導が必要な帰国・外国籍児童生徒への支援については、日本語初期集中指導教室と日本語指導拠点の小中学校との連携を深め、日本語の確実な習得と学力の向上を図るとともに、将来の目標や夢を持つことができるようにキャリア教育の実施などの支援も行います。



### ■ ふるさと教育の充実

ふるさと教育を充実し、出雲をふるさととして誇りと愛着を持ち、夢や目標を自らの力で実現しようとする子どもを育成します。

### ■ 科学館における教育活動の推進

出雲科学館を活用した理科学習や、総合的な学習時間をはじめとした体験学習の充実を図り、創造性豊かな人材の育成をめざします。

### ■ 保幼小中連携による就学支援

幼児期の教育と小学校教育の接続及び小学校教育と中学校教育の接続を円滑に行うため、計画的に連携事業を支援します。

### ■ 困難を抱える子どもの支援

- 障がいのある幼児・児童生徒の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズを把握し、関係機関と連携し切れ目のない支援の充実を図ります。
- 不登校児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、小・中学校や教育支援センター等での支援の充実を図ります。
- いじめ・問題行動等生徒指導上の問題の解決は小・中学校の喫緊の課題となっており、未然防止はもとより、早期に発見し組織的に対応するとともに、関係機関と連携した支援体制の充実・強化を図ります。

### ■ 学校給食における地産地消の推進

学校給食に地元産食材を積極的に使用することにより安全・安心な給食を提供し、地域への愛着や生産に携わる方々への感謝の心を育み、子どもたちの健全な心身の育成を図るとともに、地元産食材の消費拡大に努めます。

### ■ 学校施設の充実

- 学校再編による新設校の整備、社会増や学級編成基準の変更により必要となる校舎増築について、計画的な整備に取り組みます。
- 学校施設は、災害時に避難所となるため、誰でも不便なく過ごせるようバリアフリー化等に取り組みます。
- 学校施設の長寿命化に取り組みます。





## 地域を支えるひとづくり ★



### ■ 市民協働の推進

市と市民団体の連携のもと、地域の抱える課題について考え、創造工夫する自主的・主体的な市民活動を促進するため、市民団体が行う活動に関する情報提供や支援を行います。

### ■ NPO法人等への支援

NPO 法人等の活動の多様性や自主性を尊重し、特定非営利活動の健全な発展を促進するとともに、意見交換会も含めたネットワークづくりや相談業務などの支援を行います。

### ■ ボランティア活動の推進

- ボランティア意識の啓発・普及に努め、ボランティアに関する情報の収集や紹介、人材育成、相談業務の更なる拡充に努めます。
- 総合ボランティアセンターを中心に、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ボランティアのネットワークの拡大や災害時に対応できるボランティアの啓発や推進に取り組みます。

### ■ 住民自治活動に対する支援

自治協会等の自治会加入促進の取組や、地域課題解決に向けた取組に対し、補助事業による支援を行います。



### ■ コミュニティセンターを活用した地域事業の促進

- 市内 43 コミュニティセンターにおいて、住民主体のまちづくり事業として企画される「コミュニティセンター自主企画事業」を支援します。
- 市民協働活動及び地域防災の拠点であるコミュニティセンターにデジタル化を推進し、ネットワーク強化とともに、市との連携強化を図ります。

### ■ 高等教育機関との連携による人材育成

- 高等教育機関等と連携協定を締結し、人材育成、産業振興、保健・医療・福祉の向上など多様な分野で連携・協力を進めます。
- 魅力ある地域づくりへの学生の参画を進めるなど、地域の未来を担う人材の育成に努めます。



# ともに楽しむ



誰もが住んで楽しく  
訪れて楽しい  
出雲をめざす

## チャレンジ

# 2200万人

～生涯学習等施設利用者数（8年間）～

コロナ禍前の平成30年度に生涯学習等施設（※）を利用した人は、年間延べ約268万人。市民生活をより充実したものにするために、学び楽しみ、人生をより豊かにするために、生涯学習等を行える公共施設の利用者を8年間で2,200万人（年平均275万人）になることをめざします。

※生涯学習施設：出雲市民会館等の市民文化系施設、図書館等の社会教育施設、体育館等のスポーツ施設、コミュニティセンター

- 誰もが出雲に魅力を感じ、住んで楽しい、訪れて楽しいと思えるまちをめざし、出雲への愛着や誇りを育てるとともに、出雲を楽しむ機会や場所をつくることで、「出雲力」を高めます。
- 生涯学習、芸術文化、歴史、スポーツ活動などを推進することで、市民が楽しみや喜びを感じ、ふるさと出雲への誇りや愛着をもって暮らすことができるまちづくりをめざします。
- 様々な手段を活用して出雲の魅力を積極的に発信することで、出雲に対する人々の興味・関心を引き出します。
- 必要な情報を分かりやすく伝え、市政への理解・関心が高めることで、市民参加のまちづくりをめざします。



# ともに楽しむ

## 芸術文化・スポーツの振興★



### ■ 芸術文化振興

古くから神話の舞台として、長い歴史と伝統、有形・無形の文化遺産を有し、そしてそれらは今に息づいています。この特色ある歴史や取組を活かした芸術文化活動を検証し、さらに活発化することにより、心の豊かさが真に実感できる芸術文化の都出雲の創造の実現をめざします。

### ■ スポーツ振興

『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』の実現のため、「スポーツがあふれるまちづくり」「スポーツを担う人づくり」「スポーツを支えるネットワークづくり」を基本目標として、計画的に諸施策を推進します。

### ■ 国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会に向けた取組

令和12年（2030）に島根県において開催予定の、国民スポーツ大会を見据えた競技力向上、全国障がい者スポーツ大会を見据えた障がい者スポーツの普及促進を図ります。



## 生涯学習の推進



### ■ 生涯学習講座の充実

本市の地域特性を活かし、地域の歴史や文化などについて学ぶ講座を開催します。その学習成果により、コミュニティを支えていく人材を育成し、市民が自ら地域課題の解決に参画できる社会の構築を進めていきます。

### ■ 図書館サービスの充実

図書、郷土資料、新聞・雑誌、インターネット上の情報など幅広い資料の収集と提供を行い、市民の読書活動を支えるとともに、自主的な調査・研究や学習活動を支援します。

### ■ 子ども読書活動の推進

豊かな心を育て、主体的に学び、たくましく生きる力を育てるために、市立図書館を核とし、家庭、学校、地域の読書ボランティア等と連携して、発達段階に応じた子どもの読書活動を推進します。



## 出雲の魅力発信★



### ■ 縁結びデジタルプロモーションによる出雲ファンの創出

市等が運営するウェブサイト相互に関連付け、デジタルマーケティングの手法により、ウェブサイトへ誘導することで、主に県外在住者に向けて本市をPRし、本市に関心を持つ人の増加につなげます。

### ■ 出雲の「しごと」と「暮らし」の情報発信

- 出雲市で働く（活躍する）人「出雲人」に着目し、産業を紹介するサイト「出雲人-IZUMOZINE-」や、移住支援情報や空き家情報など暮らしの情報を伝えるサイト「いずも暮らし」の充実を図り、本市の魅力や、「しごと」、「暮らし」の情報を伝え、交流人口や関係人口の増加はもとより、市内での就労、居住につなげます。
- 様々な手段・媒体を活用し、必要な方に必要な情報が届くよう効果的な情報発信に取り組みます。

### ■ 出雲版図柄入りナンバープレート（出雲ナンバー）の普及促進

出雲版図柄入りナンバープレート（出雲ナンバー）の普及促進を図り、出雲ナンバーを付けた自動車を走る広告塔として活用することで、出雲の認知度向上やイメージアップを図ります。

### ■ 広報広聴機能の充実

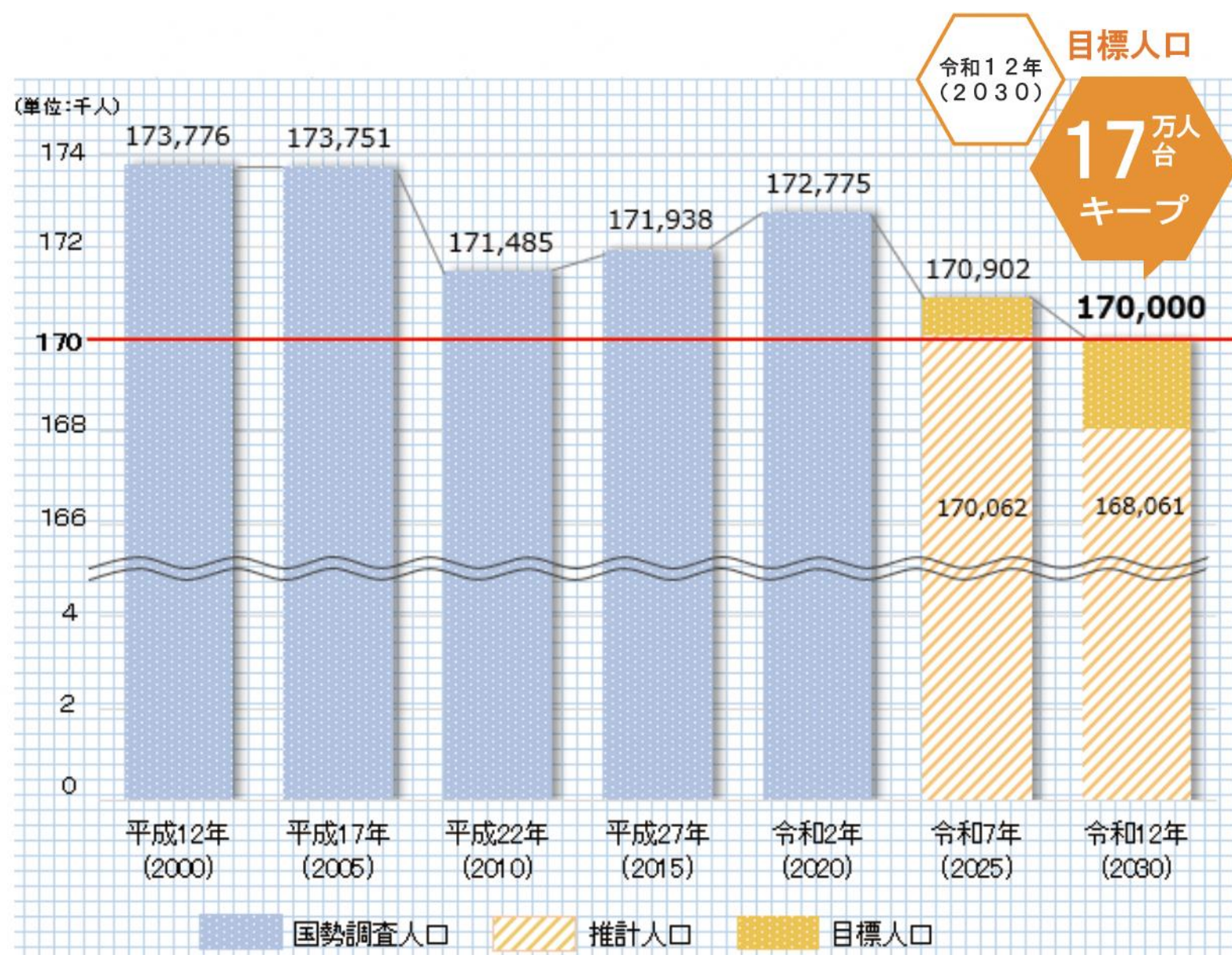
市民が主役のまちづくりの実現のため、市民が必要とする情報を分かりやすく伝えることで、市政への理解と関心が高まることをめざします。また、市民の意識や動向を的確に把握するため、対話と交流を重視したきめ細やかな広聴活動を展開し、市政への反映を図ります。



令和12年(2030)

## 目標人口

## エリア別将来像(基本指針)



未確定  
4月以降方針決定

令和2年(2020)3月に策定した本市人口ビジョンでは、長期的にみると総人口の減少傾向が続き、令和12年(2030)には17万人を割り込み16万8千人になると推計しています。

人口減少・少子高齢化の進展は、社会保障をはじめとする行政サービスの拡大を招く一方で、社会経済活動の縮小により税収の減少などにつながります。また、地域活動や地域行事・文化の継承が困難となり、ひいては地域コミュニティの崩壊につながることも考えられます。

本市においては、雇用の場や働く人材の確保、移住・定住対策、結婚から子育てまで切れ目のない支援に加え、新しい時代の流れにも対応しながら、若者の夢がかなえられる、誰もが生き生きと活躍できる、そしてどこに住んでいても安全、安心に暮らせるまちづくりを進めることで、令和12年(2030)の人口17万人維持をめざします。また、特に山間部や海岸部などの人口減少が顕著な地域においては、それぞれの地域が抱える個別課題を多様な視点から整理し、分野横断的な施策を展開することで課題解決につなげます。